

eラーニング支援者養成のための取組み事例

青山学院大学

青山学院大学では、eラーニングの授業設計、教材開発、学習支援などに携わる専門家を育成するため、必要な専門知識を体系的に教育するプログラムを開発し、正規の教育課程として実践している。授業は、対面授業とeラーニングを組み合わせたブレンディッド・ラーニングで構成されており、学習支援者を配置して学生に十分な支援を行っている。また、学習効果への綿密な評価を通じて教育プログラムの強化を図っている。

1. 実施規模

全学部・大学院を対象とする正規の教育課程として実施

※科目数：26科目

※受講学生数：172名

2. 授業での位置付け

eラーニングに携わる5つの専門職（インストラクショナルデザイナー、コンテンツスペシャリスト、インストラクタ、メンタ、ラーニングシステムプロデューサ）を定義し、職種ごとにコースを定め、ブレンディッド・ラーニングにより授業を行う。必修科目、選択必修科目、選択科目から計9科目に合格すると、職種ごとのeラー

ニング専門家認定試験の受験資格が与えられ、認定試験に合格すると、総合研究所eラーニング人材育成研究センター(eLPCO)より職種ごとのeラーニング専門家認定証が与えられる。

専門職名	人材像
インストラクショナルデザイナー	インストラクショナルデザイン手法を用いて、eラーニングの教育プログラムを設計、評価する専門家
コンテンツスペシャリスト	eラーニングの教育プログラムの設計を反映して、適用すべきメディアの特徴を踏まえた教材を制作する専門家
インストラクタ	授業を通じて教授活動をする専門家
メンタ	eラーニングにおいて、学習者に対する質疑応答や情意面からの学習支援を行い、学生の主体的な学習に対する動機付けを行う専門家
ラーニングシステムプロデューサ	学習管理システムの運用や、コンテンツ管理を通して、技術的な側面から授業運営を支援し、さらにeラーニングシステムの要件定義や設計にも関わる専門家

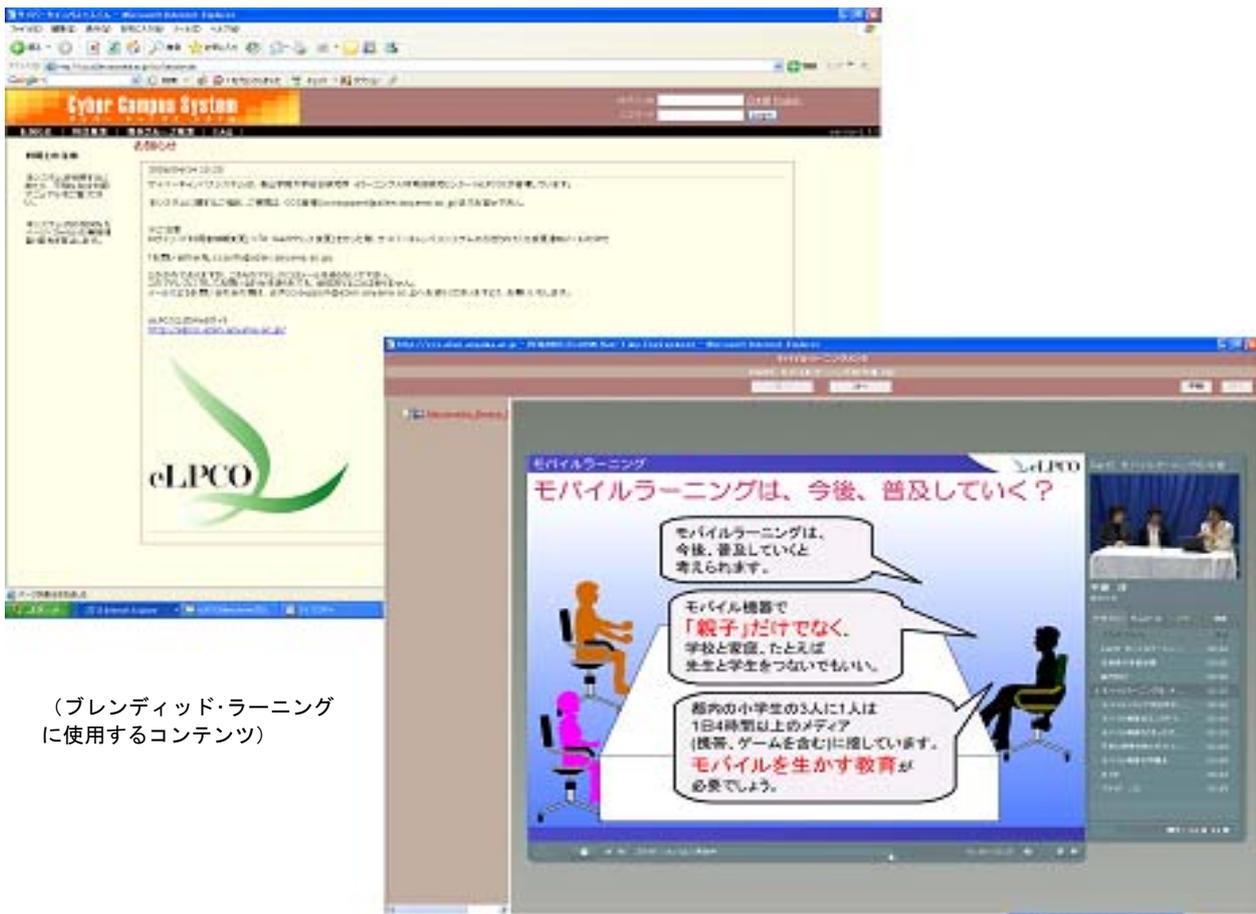
(eラーニング専門職の種類と人材像)

3. 代表的な授業科目での活用状況

『eラーニング総論』は入門科目であり、基礎理論、基礎知識の習得を目的としている。eラーニングでは、学生の個人指導への対応や動機付けを高める学習支援者（メンタ）を学生30人に1人ほどの割合で配置し、学生からの質疑応答に答えることはもちろん、進捗管理を行い、学習スタイルの相談にも応じている。一方、対面授業では、学生間のディスカッションを行い、実践的知識、応用力を習得させている。対面授業では、講師（インストラクタ）は学生のディスカッションを活性化させる舵取り役として授業を進めている。



(授業の様子)



(ブレンディッド・ラーニングに使用するコンテンツ)

4. 大学の支援体制・支援内容

ブレンディッド・ラーニングの運営は、eLPCOのeラーニング専門家によって進められている。また、eLPCOでは、正規授業以外にも、eラーニングのみで構成される科目を用意しており、正規科目の単位取得制限により受講できない学生にも学習の機会を拡大している。eラーニングのみで受講する学生には、メンタによる学習支援をより充実させるなどの工夫を凝らしている。eLPCOでは、本プログラムに対する学習評価、外部評価を綿密に行っており、評価結果をインストラクショナルデザインに反映し、ブレンディッド・ラーニングの改善、メンタリング活動の充実、eラーニングシステムの改良などに取り組んでいる。

5. eラーニングの活用効果

- ① 学生の主体的な授業参加意識が高まり、学習意欲と理解度の向上が図られている。
- ② メンタに質問・相談をしたり、他の学生と積極的にディスカッションを行うなど、eラーニング、対面授業ともにコミュニケーションが活発になっている。また、応用力も高まっている。

6. 今後の課題

現在、産官学の連携を推進すべくオープンフォーラム、公開講座などの取組みを進めている。また、eラーニング専門家を目指す学生と企業との組織「eLPCO 産学連携コミュニティ」を設置しており、学外機関との協力による教育プログラムの改善、資格制度の制定を目指している。

《問合せ先》

青山学院大学総合研究所 eラーニング人材育成研究センター (eLPCO)
Tel: 03-3409-8111 (内線 12082) elpcopm@a2en.aoyama.ac.jp